



# 二川宿まち並み通信

第35号 令和6年9月1日  
発行：‘二川宿’まちづくり会  
大岩町東まちづくり会  
大岩中まちづくり会  
協力：豊橋市都市計画課

## ◆ 第10回 ‘灯籠で飾ろう二川宿’ 開催される！



まち並み景観整備が進み  
まつりの趣きが増す！

7月27日(土)、第10回‘灯籠で飾ろう二川宿’（主催：NPO 法人二川宿「灯籠で飾ろう二川宿」開催実行委員会、児玉和久会長）が開催されました。

令和2年から4年はコロナ禍で中断し、昨年は規模を縮小しての開催でしたが、今年は二川駅から二川一里塚跡「川口屋」までの約1.5 kmでの本格開催となりました。

地域の子供たちや市民、地元企業など、一人ひとりが思いを込めて手づくりした灯籠が旧街道沿いを中心に並べられ、多くの出店やミニコンサートの開催もあり、大変賑わいました。

灯籠の柔らかな灯りと歴史的なまち並みが引き立てあい、訪れた人々は、幻想的な雰囲気を楽しんでいました。



二川宿まちづくり会、大岩町東まちづくり会、大岩中まちづくり会  
各まちづくり会も参加し、まつりを楽しく盛り上げる！

### ◆ 二川宿まちづくり会

駒屋の駐車場で「千本釣り」や「スーパーボールすくい」を出店。若手メンバーが活躍しました！

また、地域に出店の声掛けをし、生ビールやフランクフルト、アイスクリームの販売も共同で実施しました。



### ◆ 大岩町東まちづくり会

旧街道に大型行灯を設置し、まつりを引き立てました。

11月の大名行列に向けて、バザーを準備中です。

### ◆ 大岩中まちづくり会

ヨコタサイクルの店先で生ビールや唐揚げなどを販売し、隣の駐車場ではジャズコンサートを実施しました。

地域の子供たちが率先してお手伝いしてくれました！



## 交流と発信の力で、二川宿を未来へつなげていきたい！

～ 今あるモノ・コトに新たな価値を与え、  
新たな仕事を創り出し、まちの課題解決にチャレンジ ～

二川宿のまちづくりに新たな風を吹き込む神谷高宏さん



二川宿ではまちづくりが進んでいますが、一方で歴史的な建物の減少や空き家の増加など、課題が色々あります。そうした中、まちづくり会で進めていた‘二川宿の古民家等の活用に関するアンケート’に前向きな回答を得ることができました。そこで、回答をいただいた‘神谷高宏さん’に、7月17日のまちづくり会意見交換会にご参加いただき、その思いや取り組みについて伺いました。

### ● 自己紹介を

★ わたしは豊橋市の下地町で生まれ、高校まで豊橋で過ごし、大学卒業後は旅行会社に就職。豊橋支店、福井支店などで旅行営業のほか地域活性化事業などを担当しました。その間、大岩町に家建て、単身赴任もしましたが、ずっと大岩町で暮らしています。令和3年に静岡県内の自治体に出向し、SNSによるシティプロモーション、イベントの企画運営、官民共創による事業構築と運営などを担当しました。昨年10月に妻を事業主とした自家製天然酵母ベーグル専門店「Bagel. farm」を開業、さらに4月にセカンドキャリアをスタートするために旅行会社を退職しました。現在は、地元豊橋および遠州地域で“社会課題を交流の力で解決する”事業で起業するために準備を進めています。

### ● 実現したいことや思いは？

★ 自分自身が生涯健康で有意義に暮らすために、常にチャレンジをしていきたい。これまで携わってきた交流をキーワードに、地域の課題に本気で取り組み、それを多様な人たちと一緒に克服すれば、新たな仲間、価値が生まれ、自分自身が幸せややりがいを感じ生涯を生きていけるのではないかと。また、自分だけでなく、一緒に携わった人たちも幸せな気持ちを持ってもらうことで、まちそのものが豊かに活気あふれる姿を見せてくれるのではないかと。ライフワークとして、ビジネスの力で、地域を元気にし、地域が抱える課題を解決していけたらきっと幸せな一生を送れるはずと考えています。

### ● チャレンジのきっかけは？

★ ‘コロナ禍で痛感した外に出ることのワクワク感、人と繋がることの幸福感’です。社会と繋がって少しでも仕事ができたら、新たな友人ができたなら、毎日誰かと話ができたらきっと有意義に、健康に人生を全うできるかもしれない、と思います。

これまで取り組んできた交流事業を通じ、自分が関わりたいと考えるエリアでコミュニティを構築し、エリアとそれに関わる人の幸せを実現できたら、大きな社会貢献ができるのではないかと考えています。

### ● 未来へつなげていく方法は？

★ もともと、わたしたちが暮らすこのエリアは、東海道の宿場町として全国から人を受け入れ、地元の人と旅人が交流し、商業・産業が栄えたまちです。当時の人の思いを想像しながら、今を暮らすみなさんと共に、未来の世代にこのまちの素晴らしさを伝えていきたい。そのためには、まちの魅力をあらゆる角度から見つめ直し、再発掘し、整理し、磨き、そして使用可能な状態にしたうえで、その歩みを発信していく必要があると考えます。時代にマッチした発信方法で、外部からの知恵や工夫をエリアに持ち込み、持続的に異文化や多様な人たちや、エリア内外のヒト、モノ、コトとつながり交流することで、未来へつなげていくことができると考えています。

### ● 取り組みの構想は？

★ このエリアには、空き家の増加、空き家の利活用、若い人の定住が少ないなどの課題があると考えています。それらの課題に対して、わたしがエリアのハブとなり、課題解決のための関係者をエリア内外で探し出し、課題と一緒に取り組むことで新たな価値をつくり出します。そこでうみ出された新たな価値のあるモノ、コトを通じて、事業を営み、持続的に収益とこのエリアに関わる人を増やし、これまでない事例をつくり出すことで前述した課題を地元の皆さんと解決したいと考えています。

### ● 今進めていることは？

★ 現在は、地域の方々から私の思いなどを説明しながら、活動拠点を旧街道沿いで探しています。また、地域の魅力発信のためのSNSの立ち上げ準備も進めています。皆さんと一緒に、幸せを感じられるまちづくりに頑張っていきたいと思っています。応援していただければ幸いです。